



輝け！北っ子

平成31年3月5日発行

3月号

発行責任者 紺野 宗作

今年度の締めくくりの月となりました！

いよいよ今年度最後の月、3月がやってきました。保護者の皆様には、学校への多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今、学校では3月7日に「6年生を送る会」、22日には、「卒業式」と、大きな行事を控えています。心をこめて歌声や呼びかけなどができるよう、各学年で練習に励んでいきたいと思えます。

子ども達は、この1年間、それぞれの目標をもって、いろいろな取り組みをし、つらいことも乗り越えてきたと思えます。子ども達の頑張る姿や悔しい気持ちを克服する姿など、どれほど、我々教師を勇気づけたことか……。北小の子ども達は、本当に誇らしい子どもたちです。

また、3月は、1年間の学習のまとめの時期でもあります。次の学年に向けて、しっかりと復習し、次の学年に自信を持って進級できるよう支援していきたいと思えます。春休みも各学年工夫して課題を出しますのでよろしくをお願いします。

来年度の教育計画を作成中！ ■新学習指導要領への対応

急激な少子高齢化による生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新による雇用環境の変化、人工知能（AI）の飛躍的な進化など……。子ども達の未来予想が困難な時代となっています。このような時代にあって、学校には、子ども達が様々な変化に向き合い、他者と協働して課題を解決する力、様々な情報を自分で再構成し新たな価値を生み出していく力などを育成していくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、新学習指導要領が2020年に施行され、大きく教育内容や方法が変わる予定です。今は移行期間といってその準備期間。できるところから新学習指導要領に沿った形で教育計画を作成しています。その一部を紹介しますが、詳しいことは文科省のHPをご覧ください。

- 外国語教育・・・子ども達が将来どのような職業に就くとしても、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる能力が生涯にわたって必要であることが想定され導入されました。
 - ・第3. 4学年 年間35時間 （来年度は15時間）
 - ・第5. 6学年 年間70時間 （来年度は50時間）
- 道徳の教科化・・・今までも道徳の時間はありましたが、「特別の教科 道徳」と位置付けて、様々な場面から深く自己を見つめ、自分はどうすべきか、自分には何ができるかを判断し実践できるよう指導方法を見直します。児童の評価も行うこととし、通知票にも今年から道徳の評価の欄が設けられました。
- プログラミングの体験・・・子ども達がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を各教科等の学習を通しながら身につかせます。

伝統を引継ぎ・登校班の班長、朝の奉仕活動！



二本松市では昭和44年以来50年に渡って「公德心高陽運動」を継続しています。公德心とは、社会の一員としての自覚に基づき、公共のマナーや利益を守ろうとする心を指しています。公共の利益のために進んで奉仕することは、公德心の表れと言えます。子ども達の朝の奉仕活動を通じて、公德心を育ててほしいと思っています。



6年生がこれまでやってきたことを、今、5年生が引き継いでいます。例えば、校庭の掲揚台に校旗を掲げる仕事は6年生が行っていましたが、今は5年生がやっていますし、縦割り班の班長は2月から5年生が務め、清掃活動等も行っています。集団登校の班長も、そのほとんどは5年生が引き継ぎました。また、毎朝の奉仕活動やあいさつ運動も今は5年生が中心となって行っています。

様々なことを6年生から引き継ぎ、5年生は、北小の伝統を引き継ぐことの大変さやその重みなどを感じているところです。すべての活動にリーダーとして自覚を持つことが求められますが、リーダーとなることで様々な役割と責任を子ども達は学びます。子ども一人一人にとって、決して低いハードルではありませんが、温かく見守り励ましていきたいと思っています。